

令和3年度ものづくりプラモデル大学活動報告

令和3年7月10日(土)の開講式・第1回講座から令和3年12月25日(土)第7回講座・修了式まで、共通講座3回、ものづくり産業密着コース4回、創造力育成コース4回の全11回の講座を開催しました。

【開講式・第1回講座】

開講式では、ものづくり産業密着コース、創造力育成コースの両受講生が集まり、田辺学長から歓迎を受けました。また、各々が持つ受講に向けた思いを語っていただきました。

第1回講座では、「なぜ、静岡市は模型の世界首都なのか」をテーマに国立大学法人静岡大学教育学部教授芳賀正之様から講演いただくとともに、ものづくり産業密着コースの講師を担当する株式会社青島文化教材社の代表取締役社長青嶋大輔様、創造力育成コースの講師を担当する漫画家たなかよし様、メタルサイエンス有限会社商品開発部部长長谷靖年様から各々が考えるプラモデル産業の課題についてお話しいただきました。



【ものづくり産業密着コース】

第2回から第5回は、コース別に分かれて講座を開催しました。ものづくり産業密着コースにおいては、第2回、第3回はプロダクトの視点を学習しました。第2回は、株式会社青島文化教材社を訪れ、普段は見るできないプラモデルメーカーの仕事場やプラモデルの金型等を見学しながら、プラモデルメーカーがどのような仕事をしているのか学習しました。



第3回は、プラモデルメーカーの仕事の一つ、商品企画を体験しました。受講生各々が、商品を考え、企画書を書きました。グループに分かれて、株式会社青島文化教材社社員の方も加わり企画会議を行い、グループ内で「これぞ」という企画を発表しました。また、プラモデルメーカーがどのような視点から商品企画しているのか学習しました。



第4回、第5回は、マーケットの視点からプラモデルの面白さについて考えました。第4回はグループワークの中で、プラモデルの面白さとはどこにあるのかを話し合うとともに、実際にプラモデルの組み立てを行ったり、デカール貼を体験しました。また3Dプリンターによるパーツづくりについても学習しました。



第5回は、プラモデルの塗装について学習し、実際にウェザリング(汚し)塗装を体験したり、完成した作品の撮影の仕方を学びました。第5回は再び株式会社青島文化教材社を訪れ、実際に商品パッケージを撮影する撮影セットでの撮影体験も行いました。第4回、第5回でプラモデルの組立、塗装、撮影を体験したところで改めてプラモデルの面白さとその面白さを他の人に伝えるにはどうしたらいいかを考えました。



【創造力育成コース】

創造力育成コースでは、第2回から第5回をとおして、ミキシングビルドという手法を用いてオリジナル作品の制作を行いました。

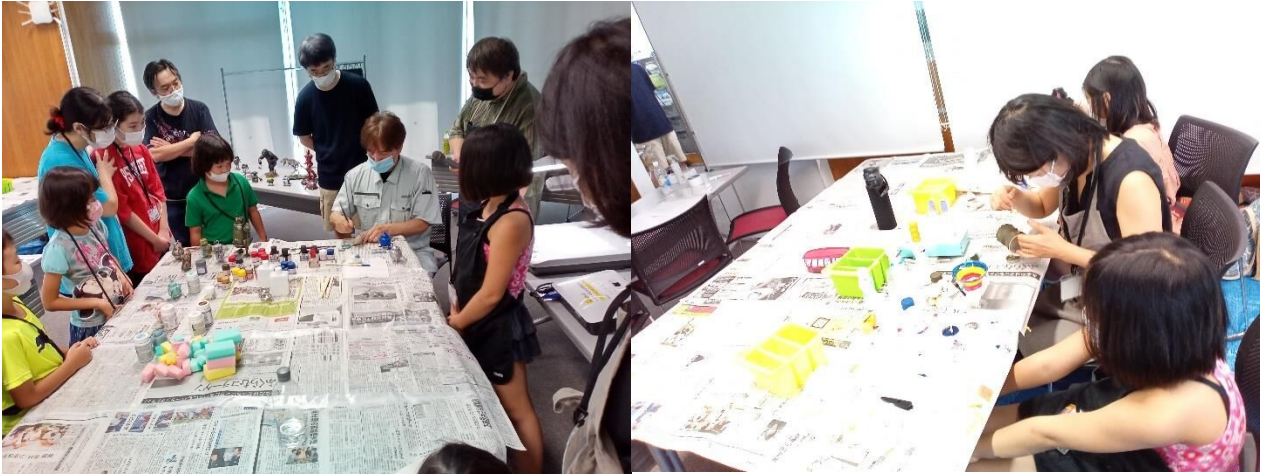
第2回は、たなかよしみ様の飲料やお菓子等のプラスチック容器を活用した作例をみながらミキシングビルドの手法やプラモデルにおける箱絵の重要性について学習するとともに、これから制作していく作品のイメージを膨らませました。また、作品を作るために必要な材料を考え、次回の講座の時に持ってくるという宿題が出ました。



第3回は、基本となるプラモデルキットに受講生各々が持ち寄った飲料や食品の容器等、材料を思い思いに組み合わせ、オリジナルのロボットを制作しました。個性豊かな世界に1つしかないロボットたちが出来上がりました。



第4回は、実際にプラモデル製品の見本の制作・塗装も手掛けている長谷靖年様から塗装のコツなどを教えていただきながら、オリジナルロボットの塗装を行いました。塗装によって、オリジナルロボットたちは、元は飲料やお菓子等のプラスチック容器とは思えない一つのプラモデル作品となりました。



この講座では作品を作って終わりではなく第5回は、完成したオリジナルロボットの撮影を行い、名前と特徴を考え、その活躍想像図を描きました。受講生が制作した個性豊かなオリジナルロボットたちは別途公開しています。



【第6回講座】

第6回講座では、再び、両コースの受講生が集まり、「プラモデルファンのすそ野を拡大すべく、何ができるかを考える」についてグループディスカッションを行いました。まずは、両コースの講師の皆様によるパネルディスカッションを踏まえ、受講生が4グループに分かれ、グループディスカッション・発表を行いました。4グループからはそれぞれ異なる視点の意見が出ました。



【第7回講座・修了式】

第7回講座では、講座の中で制作した作品、また講座で学んだことを活かして新たに制作した作品の発表を行いました。受講生から各々制作した作品に対する思いが語られました。

また、最後に講師の皆様と第1回から今までの講座を振り返り、今までの講座を通じてこれからのものづくりプラモデル大学の修了生として自分自身にできることを考えました。

修了式では、田辺学長から修了生一人一人が修了証書を授与され、修了生としての決意を語りました。

修了式後は、修了生の皆様が作った作品を取り囲んでの交流会となり会場は大いに盛り上がりました。_

